



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場取引所 東 大

上場会社名 森下仁丹 株式会社

コード番号 4524 URL <http://www.jintan.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 駒村 純一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員

(氏名) 武貞 文隆

TEL 06-6761-1131

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	7,312	13.1	8	△96.8	31	△87.9	37	△88.6
24年3月期第3四半期	6,466	9.9	253	—	262	—	328	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 29百万円 (△91.9%) 24年3月期第3四半期 370百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	1.84	—
24年3月期第3四半期	16.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	12,477	60.6	7,558	60.6	7,558	60.6
24年3月期	11,909	64.5	7,681	64.5	7,681	64.5

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 7,558百万円 24年3月期 7,681百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
25年3月期	—	0.00	—	7.50	7.50
25年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,700	13.3	300	7.3	350	△3.9	300	△27.5	14.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	20,750,000 株	24年3月期	20,750,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期3Q	404,345 株	24年3月期	402,940 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期3Q	20,346,518 株	24年3月期3Q	20,348,202 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は当月6日に終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表等	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景に国内景気の緩やかな回復の動きが見られたものの、長引く欧州債務危機等海外経済の減速状態が続き、円高の長期化、個人消費の低迷等により、景気の先行きは不透明なまま推移しました。

当社グループの属する業界も、幅広い層での健康意識の高まりが持続しているものの、消費者の生活防衛意識による価格選好意識の高まりや相次ぐ大手企業の新規参入による競合激化など当社グループを取り巻く環境は依然として厳しいものとなっております。

このような状況のなか、当社グループとしては『伝統に縛られず、伝統を活かす。』を理念に『伝統と技術と人材力を価値にする。』をビジョンとして期初から積極的な諸施策・諸活動を展開しております。またロート製薬株式会社との共同販売会社である株式会社メディケアシステムズを解散したことから、7月より国内小売店向けビジネスを当社独自のルート販売で再スタートしたこともあり、売上高は7,312百万円と前年同四半期と比べ846百万円(13.1%)の増収となりました。

利益面においては主力商品「ビフィーナ」が引き続き好調に推移していること、国内小売店向けビジネスの商流変更等の影響もあり、売上総利益は3,927百万円と前年同四半期と比べ411百万円(11.7%)の増益となりましたが、上記の国内小売店向けビジネスの販売体制再構築に伴う費用の増加及びプロモーション活動の費用増加、並びにカプセル受託事業の新規分野への研究開発投資などが影響し、営業利益は8百万円と前年同四半期と比べ245百万円の減益となりました。

さらに営業外損益を加えた経常利益は31百万円と前年同四半期と比べ231百万円の減益となり、補助金収入の特別利益を含めた四半期純利益は37百万円と前年同四半期と比べ291百万円の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①ヘルスケア事業

当セグメントにおきましては、主力商品「ビフィーナ」の売上高は2,410百万円と前年同四半期と比べ480百万円(24.9%)の増収と引き続き好調に推移いたしましたが、緑茶青汁等他通販商品群が苦戦を強いられました。なお口内炎治療薬などOTC医薬品や化粧品など関係会社である株式会社エムジェイラボの取扱商品は堅調に伸展しております。その結果、ヘルスケア事業の売上高は5,336百万円と前年同四半期と比べ676百万円(14.5%)の増収となりました。

損益面では、人員増による人件費増や先行投資的なプロモーション費用増加が影響し、セグメント利益は5百万円と前年同四半期と比べ102百万円の減益となりました。

②カプセル受託事業

当セグメントにおきましては、医薬品分野の自社製品「ソルミラン」やフレーバーのカプセル受託は前年に引き続き順調に推移し、売上高は1,929百万円と前年同四半期と比べ172百万円(9.8%)の増収となりました。

損益面では、工業用等の新規分野での研究開発負担等経費の増加によりセグメント利益は6百万円と前年同四半期と比べ157百万円の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、12,477百万円と前連結会計年度末と比べ568百万円(4.8%)の増加となりました。総資産の内訳は、流動資産が4,130百万円と前連結会計年度末と比べ2百万円(0.1%)の減少となり、固定資産が8,347百万円と前連結会計年度末と比べ571百万円(7.3%)の増加となりました。流動資産の減少の主な要因は、現金及び預金の減少によるもので、固定資産の増加の主な要因は、新工場(長浜工場)用の不動産購入や設備改修中の滋賀工場の機械設備の増加等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、4,919百万円と前連結会計年度末と比べ692百万円(16.4%)の増加となりました。負債の内訳は、流動負債が2,519百万円と前連結会計年度末と比べ151百万円(5.7%)の減少となり、固定負債が2,399百万円と前連結会計年度末と比べ843百万円(54.2%)の増加となりました。流動負債の減少の主な要因は、設備関係支払手形の減少、固定負債の増加の主な要因は、借入金の増加によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は7,558百万円と前連結会計年度末と比べ123百万円(1.6%)の減少となりました。純資産の減少の主な要因は、配当による利益剰余金の減少や四半期純利益が37百万円に留まったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成25年2月1日の決算予想修正で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,858	988
受取手形及び売掛金	1,005	1,698
商品及び製品	539	639
仕掛品	300	287
原材料及び貯蔵品	255	292
その他	182	231
貸倒引当金	△8	△7
流動資産合計	4,133	4,130
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,499	2,383
機械装置及び運搬具(純額)	887	807
土地	2,025	2,220
建設仮勘定	651	1,206
その他(純額)	341	337
有形固定資産合計	6,405	6,956
無形固定資産		
投資その他の資産	178	200
投資有価証券	1,020	1,019
その他	178	178
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	1,191	1,190
固定資産合計	7,776	8,347
資産合計	11,909	12,477

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	948	1,178
1年内返済予定の長期借入金	150	270
未払法人税等	22	13
賞与引当金	123	70
返品調整引当金	17	21
売上割戻引当金	—	28
事業整理損失引当金	37	37
設備関係支払手形	816	319
その他	555	581
流動負債合計	2,671	2,519
固定負債		
長期借入金	700	1,530
繰延税金負債	504	502
退職給付引当金	334	350
その他	16	16
固定負債合計	1,556	2,399
負債合計	4,227	4,919
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,537	3,537
資本剰余金	963	963
利益剰余金	3,321	3,206
自己株式	△133	△134
株主資本合計	7,689	7,573
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7	△15
その他の包括利益累計額合計	△7	△15
純資産合計	7,681	7,558
負債純資産合計	11,909	12,477

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	6,466	7,312
売上原価	2,950	3,385
売上総利益	3,515	3,927
販売費及び一般管理費	3,262	3,919
営業利益	253	8
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	9	10
受取補償金	—	9
研究開発補助金	12	7
その他	6	11
営業外収益合計	27	40
営業外費用		
支払利息	12	14
その他	5	1
営業外費用合計	18	16
経常利益	262	31
特別利益		
補助金収入	—	20
販売権譲渡益	28	—
特別利益合計	28	20
特別損失		
固定資産処分損	1	4
会員権評価損	8	—
その他	0	—
特別損失合計	9	4
税金等調整前四半期純利益	281	47
法人税、住民税及び事業税	15	11
法人税等調整額	△62	△1
法人税等合計	△47	9
少数株主損益調整前四半期純利益	328	37
四半期純利益	328	37

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	328	37
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41	△7
その他の包括利益合計	41	△7
四半期包括利益	370	29
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	370	29

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ヘルスケア 事業	カプセル 受託事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,659	1,756	6,416	50	6,466	—	6,466
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	180	180	△180	—
計	4,659	1,756	6,416	231	6,647	△180	6,466
セグメント利益又は損失(△)	108	164	272	△18	253	—	253

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	ヘルスケア 事業	カプセル 受託事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	5,336	1,929	7,266	46	7,312	—	7,312
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	226	226	△226	—
計	5,336	1,929	7,266	272	7,539	△226	7,312
セグメント利益又は損失(△)	5	6	12	△4	8	—	8

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

該当事項はありません。